

令和6年度まちづくり座談会会議録（仲通り・南通り）

開催日時	令和6年10月8日（火）午後7時00分～午後8時00分
開催場所	虹のプラザ 中会議室
出席者	町長 庄司 中 副町長 高橋 裕 産業振興課長 八楸 誠 建設主幹 井苅裕幸 総務課長 土屋弘行 教育文化課長 小林基流 まちづくり推進課長 大山和彦
出席者	4名（男性3・女性1）

議事概要

1. 開 会	土屋総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）出席者紹介
2. 町長あいさつ・今後のまちづくりについて説明	庄司町長
3. 予算・支援事業等説明	総務課長
4. 懇談・意見交換	
参加者	駅前開発ってから二十数年経ちます。やっと、うちの近くの空き地に1軒の新築が建てられました。なぜ今、こういう話をするかというと、うちの前の流雪溝というのは流れないんですよ。うちの流雪溝、うちが（雪を）入れれば（流雪溝）が止まる。先にある所は流れない。で私は（流雪溝に雪を入れることを）やめました。でも歴代3人の町長さんに言っているんですけども、言っても返答も返ってこない。返答が全然返ってこない。で、今回、うちの前の土地を買った人が家を建てて、雪が落ちるとなった時に、うちも、隣の家を壊したらまずいっていうので、土地買いました。雪捨て場を作りました。なぜか流雪溝流れないので、道路に出せば、雪は投げるな、隣の雪は落ちてくる。それで、何で雪を掘るかって言ったら、重機しか無いんですよ。入れても流れない流雪溝だったら、使わない方が良いでしょう。で、うちはやめました。それでも、空き地があったからそこに投げられた。でも今回は、家が建ったんで投げられない。でどうしようとなったら、雪捨て場無いから、土地買うから、ちょっと待ってけると。で、今回、うち買わせてもらって、コンクリして、雪捨て場を作るようにしました。でもこれ何回言っても、役場に対して言っても、二十数年（動いてくれない）。うーんと、2年ぐらいかな、（役場に）流雪溝を開設になってから言っても、「10センチの水量があれば流れる。」（と言われた。）でも今現在、道路も丸まっている状態なのよ。だから、流雪溝に、雪投げでも、普通ダンプで投げるでしょ。それ、スコップで投げても止まるんですよ。それ、何度言っても、「10センチの水の水量があるから流れます。」（との回答。）やっぱり、そう言われれば、何とも言えないし。だから、今回は、たまたま、うちは雪捨て場作ったから良いんですけど、今度来る、隣の人が来るので、どこに雪を投げるかというのを、本当に考えなければならぬ。それが一つ。あと、もう一点なんですけど、こういうことを言うこと自体が、「区長さんを通してよこしてけろ」というわけだ。でも、嫌なものでしょ。だとそれが意見として届かない。だから役場の行政としては、やはり「区

	長を通して物事を言ってください」と。で、ある町会議員さんにも言ったんですけど、その人も「区長を通して役場に言ってください」と。そんなんでもさ、やっぱり町民がどこで話をしたら良いかっていうのが無いんで。たまたま今日、今回、仲通りと南通り（のまちづくり座談会）があったんで来たんです。やっぱり町づくりで住みやすくするには、やっぱり町民の意見を取り上げてくれる場所、早急に取り上げてくれる場所作ってもらえれば、良いかなと。なんかあの、目安箱あると言うんですけど、手紙で書いて、目安箱っていうのが、たぶん、町民書かないのかなと思うんです。電話でだったら、たぶん言えると思うんですけど。その辺もやっぱり考慮して、この回答だけ、なしのつぶてじゃなくて、出来ませんでしたら出来ませんで構わないんで、その回答をもらえれば。そしてあの、除雪体制も、雪捨て場あるのに、ちょっと排土板を斜めにすれば、（雪を）置かないんですよ。まっすぐ掃くから置くんで。それはやっぱり、業者さん、横山の方は結構良いらしいんですけど、でも、大石田は、あんまり芳しくない。あとで、回答だけ（頂ければ）。うちは別に、雪捨て場作ったから、問題ないので、流雪溝は使わないので。
総務課長	建設課の方で、もう一度現場の方を見させていただいて。勾配の関係とかもあるかもしれないので。
参加者	たぶん、うちの家を建てた時には、流雪溝が深かったんですよ。でも埋めたんですよ、あそこ。流雪溝を埋めたんですよ、コンクリート入れて。うちの下水のマスが合併浄化槽だったんで、逆流したんですよ。そしたら、側溝がフタになって、ダメだったんですよ。そしたらやっぱりコンクリートで埋めて、うちはもう下水道に変わったんで。そういう、だから見てもらうと分かるんですけど、丸くくなっているんですよ道路が。確かに水量 10 センチあると思います。ただね、木村さんの方が丁字路斜めなっているからものすごい水の強さがあるんですよ。だけど、うちの方は雪がどっちへ行っていていいか、こっちへ行ってこっちへ行ってか分かんないよ。それを見てもらって検討してもらっても良いのかなと思います。うちの前に流雪溝作ってくれとは言わないので。でも流れない流雪溝、やっとなん何年ぶりだから今回、返答だけしてほしい。以上です。
総務課長	せっかくこう、大石田町にね、こう家を建ててくれるというありがたい話。
参加者	ただ、前は、道路に面してるそこは、「ナゼドメ」をかけるっていう話があるじゃないですか。うちには、「ナゼドメ」がない。だから雪落ちてくる、流雪溝塞がる、ブルは白線から掃かない、で除雪してれば、「何してお前のところで道路さ投げんなやっ」て、今度は周りの人から言われる。「違うべ上から落ってくるんだべえ」って言っても、やっぱり除雪してれば、「お前のとこで投げたべえ」って言われる。でも今回は（雪捨て場を）別に作ったので大丈夫です。でも俺のところに来たのは投げようがないと思う。多分除雪機械を買って、また空き地に飛ばすかどっちかしかないと思う。

建設主幹	持ち帰って、現場を見せていただいて、あとは、お返事を返すような形で。
参加者	お金がかかるので、簡単に直すとは言えないと思います。だったら、雪を置かない方法を考えてもらった方が。だって、空き地があるんだから。空き地に排土版だけ斜めにして、空き地に持っていけば良い。そうすれば、流雪溝を直すこともないし。だって流雪溝って投げられて、ダンプで投げられなくて、スコップで投げて止まるんだもん。無理じゃん。とりあえず見て、検討だけ（して）もらえれば。
庄司町長	いろいろ言ってもらえれば、細々としたことは、できれば区長さんを通してもらえれば、本当は良いんですけども、こういった場を今後も開いていくつもりでいますので、そういった時はご意見をいただければ、ちゃんと返すような形にしていきます。しっかりと対話とか、意見を聞かせていただきます。
参加者	もう一度、先ほど言った、区長を通さないといけないんですかという話も、考えてもらえれば。みんなも思っているのではないかなと思うけどね。やっぱり言いたいんだけど、区長通してっていったら、次々と行かなきゃになるんだから、多分言う人と言わない人がたぶん出てくるな、という感じはするんですけど。目安箱は良いと思います。だけでも出す人が、（役場に行って）はいつて出すっていうのはあんまり無いかなと思います。
庄司町長	ネット上でもホームページから書けるので、もし良ければいろいろとさせていただきますので。
総務課長	なるべく意見を出せるような体制づくりっていうのは、これからもそのように努めていきたいと思っています。
参加者	旧マルキョウさんの製材所の跡地になるんですけど、いろんなお話が聞こえてきたりするんですが、現状どんな方針で、どの方向性でお考えになっていらっしゃるかということをお伺いしたいと思います。
建設主幹	活用しようとして、周辺の土地も町の方で購入するという案があったんですけども、その周辺の土地を購入するところが、地主の方とうまく折り合いがつかなくて、今は多分白紙になっていたかと思います。
参加者	前に子育て住宅を建てるとか、あるいは、川移転の代替地として考えているということを聞いたりしたのですが、だと今は白紙な状況ですか。
建設主幹	今のところ、今現在の具体的にこうしようみたいなところがない状態と認識しております。
庄司町長	もちろんこれからですね、先ほど僕もちょっと述べたんですけども、子育て住

参加者	宅であったりですね、または集合住宅であったり、一戸建て住宅であったり、そういうこともやはりちょっと念頭にはあるので、それはもちろん今後も検討課題で今考えております。 ダンスフェスがありましたね、この間。非常に感銘を受けて。ダンスの大橋さんたちが来てから、いろんな催し物をやってるんですけど、(今まで) いまいちピンと来なかった、正直。あのダンスフェスっていうのは、今までにあった「プロジェクト虹」で創った。大石田町で続けてきた団体さんも一緒にやってくださったので、新しい方法と今までのものが融合した感じがしたっていうので、感銘を受けました。非常に良かったなという感想です。 それからもう一つ、仕事柄なんですけども、地域共生社会っていうところでの話なんですけど、端的に言うと、大石田町にはグループホームが一つありますけども、作業所が無い。なので、知的障害者、精神障害者、あるいは身体障害者の働ける場が無いということなんです。実際には尾花沢にはグループホームが2つあります。それから、作業所は4つあります。その中で、そのグループホームを使って仕事している大石田の人もあります。それから、東根や村山に作業所があって、そこまで通って仕事をしている人もいます。そこで、大石田という町の単位として共生社会を作るのであれば、そういった施設が必要なんだろうなと思います。ただ、これは長いスパンで考えないとダメだと思います。例えば、先ほど言ったように、じゃあ、村山に行った人、東根に行った人、大石田に集まれと言っても集まらないと思います。東根で勤めている人も勤めたいというふうに考えているし、その先、そういった人たちを呼び込む手だても必要だと思います。また反対に、今、家にいて、障がいを持っていて、お父さんお母さんがだんだん年老いていって、どうするかな、いわゆる親亡き後の問題ですよ。そういう不安を抱えている人もいると思うんです。あまり全容は掴み切れていないんですけども、そういう相談も実際にあります。そこでやっぱりグループホームも有ればとか、あるいは作業所が無いかなというふうなところでの話も聞こえてくる場合があります。その辺をどういうふうにやっていくのかなというのを、もしお考えがあればお伺いしたいと思います。
庄司町長	はい、近隣市町村の状況も、正直まだ僕、勉強不足で分かっておりませんので、その辺は先生から教えていただきながら把握して、今後の対応とか、いろいろと考えていきたいと思います。ありがとうございます。ちなみに、今大体何人くらいおられますか。
参加者	相談ですか。その全体像は保健福祉課しか掴めていません。私たちも民間団体なので、その中で必要な情報だけもらうことになっているので、押さえているのは保健福祉課でございます。
産業振興課長（前保健福祉	福祉の方でそういった方々の人数とか、いろいろなご相談を受けてグループホームとか作業所の方はご紹介とかしております。確かに町内には無いんですけども、なかなか自治体で作るとするのは難しいところがありまして、そういった

課長)	方がいれば作業所やグループホーム等のことも検討していかなければならないのかと思います。ただ、村山さんとか東根さんとかは、そういう作業所が多いので、そちらの方に、いろいろお話を聞きながらなんですが、そこに行って仕事をしたいという形で、いろいろなケースワーカーの人とも話をしながらやっています。ただ、どうしても今後のことも考えれば、町の方にも必要な場所なんだというふうには考えますが、それはちょっと、今後検討していくことになるかと思っています。
参加者	行政の方もそういうふうな姿勢でしていたと思うんですけど、実は一つの団体に「手をつなぐ親の会」というのがあります。何かというと、知的障害者を持つ母親の会なんですけど、それで来迎寺の小内文子さんが相談員に今年からなったのですが、その人が一生懸命でその内座談会を1回しました。そしたら10の方が集まったということで、もちろん障害者の方も来ました。親の方がほとんどですけどね。その中でいろいろ話してて、いろんなことが話になってました。その一件があって、会長、高橋静雄会長さんと、あと文子相談員と私と行って、保健福祉課長さんに伝えたところですよ。そんなこともあって、やっぱりこれだけの不安というか困っていることとか、こうして欲しいということとかがあるんだな、というようなところで、その中で作業所とグループが課題だなと思いました。私も、たぶん決まってることと思うんですけど、横山の幼稚園が本当に魅力的で、あそこを作業所にできれば最高だなと思ったんですよ。低いですよ、造りが。低くて、今までの小学校じゃなくて、低いんですよ、幼稚園なので。部屋が仕切られているんですよ。あそこは知的障害を持つ人とか、重度の障害ごとに入れたら、見渡しやすいし、仕事しやすいべなというふうには感じます。今はそうなんですけども、決まっているんですよ。
参加者	駅前に観光客、銀山温泉に来るじゃないですか、で、キャリーバックも置くスペース何台ぐらいあるんだろう、置いておくスペースが。たぶん地下かな。
建設主幹	正確な数は、今わからないですけど、コインロッカーが駅の中にあります。そのほか、例えば冬場だと、そのコインロッカーに入らないような、大きいキャリーバッグを持ってこられる方もいるんですけど、そういった方だと、去年までですと、バスの待合所のところに、協力隊の末石さんがいてくれて、そこで預かってくれたり、あとは、コエノクラで預かったりという対応もしている状況です。
参加者	歩いてる人で、(キャリーバック)持っている人と持っていない人がいて、雨の時にはすごい走ってる人もいるわけですよ。だから、少ないかなっていう感じ。せっかく来たんだから、何か大石田でも観光施設、あればって思うんですけども。
参加者	多分わからないと思うんだよね。私に対応していただくとすると、例えば、末石さんが預かってくれるとか、コエノクラで預かってくれるということが。それが分からないんだよね。だから、持って歩いていく。コインロッカーは、利用者

	はいるけど、お金使わないといけないしね。なので、このことをどうにかして、伝えたいなっていうのは、考えがあるかどうか。そのことが旅行者に伝われば、もう楽々と旅ができるんじゃないかなと思っております。
産業振興課長	その辺については、情報周知の方もしていきたい。冬の対策については、待合所の方、冬場は、これからあちらの方も検討しています。あちらの方でもお預かりできるような形にはしていきたいと考えています。ただ、夏場については、今のところ、コインロッカーかコエノクラになるかと思います。
総務課長	今田さんが言いたいのは、それをお客さんに対して周知しておかないとというお話ですよ。
参加者	そうですね。インバウンドは乗って行かなければならないというのが私は思っている。ここを旅する人で、日本人ってだんご食べに行くんですよ。そんな人が大きいキャリーバックを持って、かわいそうとか楽しめないべーと思いつつ、あそこで預かりが出来るということを一言書いてあげたいなと思いつつ。
総務課長	そういう預かり所の創設と合わせて、周知していかないと。それらについては今後検討していかないと、と思っております。
参加者	駅前のロータリーあるじゃないですか。車が回るスペースの。そこの使い道が無い。今回、維新祭で、そこで食べてる人、座って食べてる人と、子どもがぐるぐるぐるぐる走ってる人もいたんです。冬の雪捨て場なんですかね？
教育文化課長	もともとは雪捨て場ではなくて、路面が無散水入ってるんですけど、その無散水の水が最終的にあそこにいって、雪が増えないようにするためなんです。あそこに、雪入れて雪溶かしましようっていうものではないです。最初は、芝生張った形の整備というものを計画していたんですけど、雪国にそれは合わないし、管理が大変なので、それよりも冬場大変にならないように、少しでも雪の処理をしなくて良いように。上手くいけば、ロータリーに少し張り付いたような雪を入れる程度のスペースがあれば、すごく使いやすいんじゃないかということで、ああいうふうな池の形にして。さらに夏場、先ほどおっしゃったように観光客とかそういう方があそこの中で座って、何か飲食とかできれば良いよねという形で、ああいう段差を作ったりはしたんです。ただ、ロータリーの真ん中なので、なかなか行ってそこで休むということはできませんけれども、そういうイベントの時とか、そういう活用ができればというふうなコンセプトで作っているんです。
参加者	ただ車が通るじゃないですか。クルクルクルクル。事故無いからまだ良いんだけど、もし万が一あそこで事故あったら、やっぱり対応が必要になってくるかなと思うんです。

教育文化課長	そうですね。事故の可能性はやっぱりどこでもあるので、そんなに深さも深いわけではないので、車が落ちれば当然上げるにはクレーンとかが必要になって大変ですけども、そこは（そのぐらいの）メリットとデメリットの兼ね合いと言いますか。
参加者	そこと、隣の待合室、あれも活用できればなというふうに思っているんだけど。ただ、前、貸すという話もあったんだよね。商工会にいたときに、商工会婦人部かな、商工会婦人部の人に使ってみないかという話が、あったと思うんです。定かではないんだけど、ただ、する人がいないんで。ただ、トイレは出来ない、水が出ない。電気だけは上通せば出来るっていう話だったんで、それも良いなと思ったんだけど、婦人部でも誰も手を挙げる人がいなかったっていう話なんです。だから、それをもし行政で貸せますよって言うのであれば、応募して活気ある駅前づくり、それも良いかなっていう判断なんだけど。たぶん、広報すれば、たぶん、する人が何らかの形で出てくるのかなと思うんですけど。電気だけは出来るけど、水道が出ませんよって話をしないといけないと思います。
建設主幹	先ほどロータリーが当初のコンセプトと今の時代と合わなくなっているというようなご意見ももちろんいただいていますし、あとは駅周辺全体を活気あるものにするような計画を作る必要があるんじゃないかとか、そういった意見も内部でもありますし、皆さんから受けているものもあるので、そこは駅周辺全体の考え方で計画していかなきゃいけないのかなというところがあります。あと、待合所の所はさっきちょっと触れましたけれども、協力隊だった末石さんに冬場、あそこで常駐していただいて、銀山のインバウンド客の皆さんのおもてなしというところをやっていただいて、今回も冬場、またお願いする方向で検討しているようですので、まずはそういった活用はしていくかなと思うんですけども。本来であれば夏場とかも賑わいがもっと出てくるような、先ほど出ていた、商工会婦人部さんなりが中に入ってもらって、例えば何か物を売ったりとか、イベントするとか、そういったこともできたら本当によろしいのかなとは思っています。
参加者	ただ、例えば人に貸す時も、やはり行政としては一応公募で図らないと、やっぱり適正な環境づくりしてくれないと、手挙げる人が、私もしたかったとか、言われる前に町報で使ってみませんかというのは、そういうことも確かにやり方としては良いなと思います。
参加者	保護者としてです。愛宕町とか朝日町とか曙町とか、駅の下をくぐって、仲通り、佐田町の方に下って行くんですけど、朝の通学時間、コエノクラ過ぎて、清水さん家のところから急にぐっと、歩道が無くなって、あるにはありますけど、細くなってる、あそこ車の通りも多いので、あそこでカラー道路とかになったらすごい嬉しいなって、ずっと常々思っているんです。ただ、あそこ県道ですので、是非そういった機会をしていただけたら嬉しいなって思ってます。

建設主幹	持ち帰らせていただきます。
参加者	役場から保護者に、いろいろと紙を送っていただくんですよ。子育て給付金とか。そういうのは、非常に送っていただいて、もちろん子育て給付金やら何やらありがとうございますと思っはいるんですけど、ペーパーレス化していただいたらなって、思っいたりします。以上です。
まちづくり 推進課長	子育て給付金とか、今の制度上で、国がその確認書を取らないとだめだと言われています。何らかの確認書類、身分証も含めて取らなきゃいけないって、国の今の制度になっているので、本当であれば、マイナンバーカードの登録者については、口座番号まで書き込みをしてあって、ここに振り込みますというところではあるんですけども、確認の申請書を必ず添付しなさいという指導のもとでやっておりますので、申し訳ございません。今のところ、まだ無理です。
6. 閉 会 （午後8時00分）	